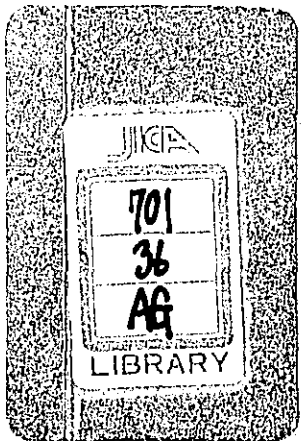


(別冊)

「アルゼンティン案内」



国際協力事業団

21087

JICA LIBRARY



1081985[2]

21087

## 在任国日本政府機関等

- 日本大使館  
Av. Paseo Colon 275  
☎30-2561 ~1
- 日本航空  
Cordoba 858  
☎392-7213
- 国際協力事業団  
Dr. Ricardo Rojas 401-8 piso  
☎311-0514/313-8901  
312-8344/8926
- 共同通信社  
Av. Corrientes 456-2 piso  
☎49-5787
- JETORO  
Juan Domingo Peron 955-7 piso  
☎35-9399, 9699
- 邦字新聞社  
亜国日報社  
Mexico 2044  
☎942-9511, 3078
- 日本輸出入銀行  
25 de Mayo 555 3-piso  
☎313-0756
- らぶらた報知社  
Uspallata 981  
☎28-8716
- 在ア日本人会  
Av. Independencia 732  
☎26-8182
- 在ア日本語教育連合会  
Enrique Finochietto 840  
☎362-8893
- 在ア日本商工会議所  
Libertad 836-2 piso 38  
☎393-2104
- 日本人学校  
La Pampa 3250  
☎552-1919
- アルゼンティン拓植  
農業協同組合  
Venezuela 2130  
☎941-1675
- ニッカイ共済会  
Av. Independencia 732  
☎23-9904
- ニッパル花卉園芸組合  
Av. Corrientes 4062  
☎86-6806
- 東京銀行  
Corrientes 420  
☎392-7277

## 主 要 都 市 案 内

### ○ブエノス・アイレス市 (Ciudad de Buenos Aires)

連邦首都 (Capital Federal)。1580年、スペイン人ホアン・デ・ガライ (Juan de Garay) によって創始されたもので、本年 (1988年) で408年目を迎えることとなる。面積約200平方キロ、人口2,900千名、周辺の衛星都市を含むいわゆる大ブエノス・アイレス (Gran Buenos Aires) 地区とあわせると、人口11,000千名の大都市となる。身振の目のように整然と区画割りされた街並み、重厚なヨーロッパ風建物の中に立ち並んだ近代的な高層ビルは、市内各所に見られるプラサ (Plaza) と公園の緑、5月大通り (Av. de Mayo)、7月9日大通り (Av. 9 de Julio) 等の美しい街路樹と見事に調和し、一大美観を呈している。南米のバリと言われる所以であろう。

ブエノス・アイレスは南米随一の文化都市であり、また商工業都市、港町でもある。数多くの公・私立大学、博物館、美術館、図書館、劇場等がある外、オペラ、シンフォニー、フォーク・ソング等の音楽活動は世界的にも知られており、世界三大劇場の一つと言われるコロン劇場 (Teatro Colon) は特に有名である。市内での商業、金融、証券活動、または近郊地区では食品加工、織物、履物、化学薬品、電気機具、金属等の工業活動も活発である。

元来ブエノス・アイレスは農牧産品の集散地、積み出し港として栄えて来たため、現在でも穀類、畜産物、工業製品の輸出港としては南米一を誇っており、ブエノス・アイレスへ入港する外洋船の数は年間3,000隻に上り、16,000千トンに及ぶ貨物の移動があるとされている。

### ○コルドバ市 (Ciudad de Cordoba)

1573年、スペイン人ヘロニモ・ルイス・デ・カブレーラ (Jeronimo Luis de Cabrera) によって創始された古都で、地理的にはアルゼンティンの略々中央に位置し、人口約969千名、アルゼンティン第二の都会である。

ブエノス・アイレスに次ぐ商工業の中心地であるとともに、バンバ地域で生産される農牧産品の集散地でもある。市内には、アルゼンティン最古のコルドバ大学があり (1614年創設)、古い教会、修道院をはじめ、スペイン植民当時のコロニア風館も多く残っている。市を取巻く丘陵地帯は風光明媚な観光地となっている。

1927年、最初の航空工廠が設置されて依頼、急速に工業都市として発展して来たもので、現在では乗用車、トラック、バス、トラクター、機関車、ディーゼル・エンジン等を生産する主要な重工業地帯となっている。また、都市周辺の工業化に伴い人口も急速に増加し、従来アルゼンティン第二の人口を擁していたロサリオ市を凌ぐ大都市となったものである。

#### ○ロサリオ市(Ciudad de Rosario)

アルゼンティン第3の都会で、人口約900 千名。

潤潤パンパ穀倉地帯中部及び北部における穀類、畜産物の集散地、積出し港として発展して来た商工業の中心地で、ブエノス・アイレス市北方約300 ㎞のパラナ河沿いに位置している。

また、1812年ベルグラノー将軍(Gral. Belgrano) が創案したアルゼンティン国旗の最初の掲揚地としても有名であり、その場所には記念碑が建立されている。

#### ○ラ・プラタ市(Ciudad de La Plata)

ブエノス・アイレス州の州都として、1882年に創始された都市で、人口約458 千名。ブエノス・アイレス市東南60 ㎞のところにある。整然とした街並と豊かな街路樹は、特に美しい。

州政府関係機関を主とする官庁都市であるとともに、国立総合大学を中心とした学生町でもあり、地方、近隣諸国から遊学する学生の数も多い。大学付属の自然博物館は、巨竜等太古の八虫類の骨格が多数収集されていることで有名である。

#### ○マル・デル・プラタ市(Ciudad de Mar del Plata)

ブエノス・アイレス市の南約410 ㎞の大西洋岸にあり、アルゼンティン屈指の避暑地、観光地である。人口約407 千名。海岸沿いに広がった砂浜と緑に覆われた陸の起伏は対照的であり、この間にしょうやかな別荘風建物が無数に散在している様は、一大美観である。毎年12月～3 月にかけてのシーズンには、3,000 千名からの観光客が押しかけ、この時期には人口も1,200 千名程度に膨脹する。国立のカジノもあり、南米のモナコと言われる所以である。

また、同市にはアルゼンティン最大の漁港がある。この国の全漁獲量の70%以上がここから水揚げされているため、水産加工業、冷凍業も盛んである。

#### ○サン・ミゲル・デ・ツウクマン市(Ciudad de San Miguel de Tucuman)

ツウクマン州の州都で、人口約939 千名。1565年、スペイン人ディエゴ・デ・ビジャロエル(Diego de Villarreal)によって創始された古都で、1816年7 月9 日、アルゼンティンの独立宣言が行われた歴史的な都市でもある。

アルゼンティン西北部における商工業の中心地として活発な動きを示している外、この地方は砂糖きびの産地でもあるので、同市周辺地区には大小の製糖工場がある。

○サンタ・フェ市(Ciudad de Santa Fe)

サンタ・フェ州の州都で、人口約287千名。1573年、スペイン人ホアン・デ・ガライによって創始されたパラナ河沿いの古都でもある。このため、スペイン植民地時代からの由緒ある教会、修道院、遺跡等が多々残っており、当時の逸品を収集、保存している歴史博物館は有名である。

また、バンバ地帯の農牧業を背景とした農牧産品の集散地、積出し港でもあり、外洋船の発着できる港湾設備がある。このため、同市周辺地区では、古くから冷凍、製粉、搾油、酪農等の農・畜産加工業が発達しており、農機具の製造工業も盛んである。

## ブエノス・アイレス市案内

### ・五月広場(PLAZA DE MAYO)

市の中心広場で、その一角に建物の色がバラ色であるという一名カサ・ロサーダ(CASA ROSADA)と呼ばれる大統領府。また、昔総督の役所で現在国の史跡記念物に指定されているカビルド(CABILDO)、当市で最初に建てられた大伽藍(LA CATEDRAL-サン・マルティン将軍廟、木堂の壁画、大理石の彫刻は一見の価値がある)等が存在し、ここから西に国会議事堂に通ずるシックな大通り「5月通り」(AVENIDA MAYO)がある。

### ・国会広場(PLAZA DE CONGRESO)

1910年に作られたこの広場の西端には大統領府と相対してグレコローマン建築の国会があり、その前に美しい記念碑と泉があって一般市民の憩いの場所となっている。

### ・サン・マルティン広場(PLAZA SAN MARTIN)

アルゼンティンから独立運動を起こし、ペルー、チリの独立を達成し、「自由の父」として崇められているサン・マルティン将軍の記念碑の存する場所で、歩道は樹々と明るい花壇で囲まれ、記念碑前は今なお同将軍を追悼する諸行事により絶えず花輪で飾られている。

### ・7月9日通り(AVENIDA NUEVE DE JULIO)

市の中心を5月通りと交差して南北に走る大通りで、その幅は世界一と称される。7月9日はアルゼンティンの独立記念日で、コリエンテス街との交差点にあるオベリスコ(OBELISCO)はブエノス・アイレス市創設400年を記念して建てられた塔である。

### ・フロリダ街(CALLE FLORIDA)

ブエノス・アイレスの銀座通りともいうべき商店街で車の交通が禁じられている。特に夕方から夜にかけて街は買物客と散歩者で非常に賑わいサンタ・フェ通りと共にそぞろ歩きのブエノス美女を観賞できる。

### ・コリエンテス街(AVENIDA CORRIENTES)

夜景も明るいネオンの多いこの通りはブエノスのブロード・ウェイとも称され主な劇場、映画館はこの通りと背中合せに北側を走るラ・バジェ(LA VALLE)と「7月9日通り」(9DE JULIO)の交差点付近に集まっている。

### ・サンタ・フェ通り(AVENIDA SAN FÉ)

一名ブエノス・アイレスの五番街と称され、落ち着いた高級商店の並んだ通りで一名「北の大通り」(GRAN VIA NORIE)の名で知られている。



・コスタネーラ(AVENIDA COSIÁNERA)

当市の東側を流れるラ・プラタ河に沿って走るこの通りの両側には約60軒のパリージャ(PARRILLA-焼肉屋)が林立している。夜これらの店でラ・プラタ河を眺めながら焼肉に葡萄酒の杯を傾ければブエノスの情緒を満喫できる。

・パレルモ公園(PLAZA PALERMO)

市の中心より北4キロのところのところに位置し、正式には「2月3日公園」と呼ばれるこの公園は、総面積7.7平方キロに及び世界三大公園の一つに数えられている。植物園、動物園、ゴルフ場、競馬場、アエロ・バルケ空港も同公園の一部を形成しているが、同空港は国内空路及び隣接国パラグアイ、チリ、ウルグアイ間の旅客機の発着場ともなっており、特にウルグアイとの往復にはこの空港を利用することが時間的に有利である。

・ボーカー(LA BOCA)

タンゴの発祥地として知られているこの町は市の南東にある古い港町で、ブエノス・アイレスのボヘミアンの地域として知られ、カミニート、魚料理のレストラン等が観光客を呼んでいる。

・コロン劇場(TEATRO COLON)

「7月9日通り」とリベルタ通り(LIBERTAD)に跨がるこの劇場はミラノのスカラ座、パリのオペラ座と並び称される。南米随一の豪華な芸術の殿堂で、定員2,700名を有し、シーズンには世界の優れた音楽、バレエ等が絶えず上演されている。

\*美術館、博物館等

・国立美術館(AV. LIBERTADOR SAN MARTIN 1743 番地)

開館 水曜日を除く毎日 15-19 時

現在のアルゼンティン、アメリカ、ヨーロッパ絵画及び17-19世紀の絵画、彫刻約300種を陳列しており、またゴッホ、セザンヌ、ゴッホ、マネ等もある。

・国立歴史博物館(CALLE DEFENSA 1600)

開館 木曜日-日曜日 14-18 時

ボーカー近くのレリマ公園内にあり、植民地時代から独立後の内戦時代にわたる武器、戦利品、軍旗、また名士の使用した家具、衣服、肖像等を陳列している。館内のサン・マルティン将軍の寝室には同将軍の使用した衣服、家具の複製等が陳列してある。

- ・ボカ国立美術館(PEDRO DE MENDOZA 1835)

開館 毎日 8-12, 14-16 時

ボカ、カミニートの近くにあり、ボカ出身のキンケラ・マルティンの作品を中心に陳列している。付属の絵画学校も壁画も同じくキンケラ・マルティンの作である。

#### \*郊外

- ・ティグレ(TIGRE)

ブエノス・アイレスの北方約30km、パラナ河の三角州にある。全域を幾百とも知れぬ流れがくもの巣の様に無数の中州を形成している光景は壮観である。

春から夏にかけて、これらの中州にピクニック、魚釣り、またはランチで中州巡りをする人々で大変賑わう。船で川を上下することが出来る。

- ・ルハン

ブエノス・アイレスの真西約70kmにあるルハンの町はフランスのLOURDES の如き聖地で、同時に存在する古い教会には国内はもとより遠くはパラグアイ、ウルグアイからも毎年多数の巡礼者がやってくる。

町は1639年に創立され、ブエノス・アイレス近郊にあっては一番古い町の一つで町内には植民地時代の市役所、博物館等があるが、特にこの博物館には当時の原住民の住居、火器、交通機関等を保存しており、歴史的にも興味がある。

- ・ラ・プラタ(LA PLATA)

1880年代にブエノス・アイレス州の首府、政教の町として建設された当市は、ブエノス・アイレス市の南約60kmのところに位置し、市中の美しい公園内には当市大学の付属自然科学博物館があるが、当博物館にある多種にわたる古虫物標本は有名である。

## ブエノス・アイレス市の主な料理店等

### \*日本料理

- ・日会食堂……………AV. INDEPENDENCIA 732 ☎ 26-8149
- ・故郷（ふるさと）……………HEXICO 1424 ☎ 38-1259
- ・北山……………HEXICO 1965 ☎941-8960
- ・すきやき……………SAN LORENZO 304
- ・みかど……………CONESA 898 ☎781-4254
- ・遊亀……………VENEZUELA 2120 ☎941-4673, 942-7355
- ・さくら……………FLORIDA 681/5 ☎392-9135/9429 内線21
- ・春日……………HOTEL PANAMERICANO内
- ・寿し奈……………SOLIS 275 ☎ 45-1056

### \*中華料理

- ・勝利桜 (GRAN VICTORIA) ……SUIPACHA 783 ☎393-7429
- ・吉慶桜 (CHIN CHIN)……………CHARCAS 3342 ☎ 83-5249
- ・LA CANTINA CHINA……………HAIPU 967 ☎ 85-5715
- ・TAO TAO……………RODORIGUEZ PENA 1177 ☎ 41-6347
- ・LA CHINA……………PARAGUAY 725 ☎37-2629/ 38-2373
- ・東方飯店 (ORIENTE) ……HAIPU 512 ☎393-8433

### \*韓国料理

- ・セウル会館……………JUNIN 548 ☎ 45-2415

### \*アルゼンティン料理，スペイン料理，フランス料理等

アルゼンティンの名物は何といっても肉料理で，その代表的なものとして「アサード」(ASADO, 焼肉のこと)「パリジャータ」(PARRILLADA, 牛の内臓の料理)「ビツフェ」(BIFE, ビーフ・ステーキのこと)等がある。

- ・LA CHACRA (肉料理)……………AV. CORDOBA 941 ☎392-1409
- ・LA CABANA (肉料理)……………ENTRE RIOS 436 ☎ 38-2373
- ・LA ESTANCIA (肉料理)……………LA VALLE 941 ☎ 35-0336
- ・LAS NAZARENAS (肉料理)……………RECONQUISTA 1132 ☎312-5559
- ・IMPARCIAL (スペイン料理)……………H. YRIGOYEN Y SALTA
- ・AUTOMOVIL CLUB (国際)……………AV. LIB. GRAL SAN MARTIN 1850
- ・AU BON AIR (国際)……………TRES SARGENTOS 496 ☎311-2135
- ・KATARENAS (フランス)……………RECONQUISTA 875
- ・AU BEC FIN (フランス)……………VICENTE LOPEZ 1825
- ・ALEXANDRA (英国)……………SAN MARTIN 774

- ・SUBITO (イタリア) ..... PARAGUAY 640
- ・EL REPECHO DE SAN TELMO (コロニア風) ..... CARLOS CALVO 242
- ・MESON ESPANOL (スペイン) ..... AV. CASEROS 1750

§アエロ・パルケ空港近くの、ラ・アラタ河沿いに(コスタネーラ)焼肉料理店が並んでいる。

純然たる亜国料理は、主に塩で味をつけた簡単なものであるが、スペイン系及びイタリア系が90%を占めているので、両国のオリジナル料理が亜国化したものもある。

\*主なものには次のようなものがある。

・アリード(焼肉)

骨つき(ろっ骨)付きの牛肉、焼肉用牛肉、小羊、山羊(腹割したもの)鶏等を材料として、炭または薪を燃やした残り火で時間をかけて焼き上げる。味は殆ど塩だけであるが、チミチューリといって、亜国独特の焼肉用ソースをかける場合もある。また、牛または小牛そのものを、土の中で蒸し焼きにするアサード・コン・クエロというものもある。大きな会合の場合に行う。食事の一日前から準備し、ゆっくり時間をかけて、蒸し上げる。

・パリジャーダ

牛や羊の肉、甲状腺、腸、腸詰(豚、牛、馬等の肉)、モルシイジャ(血の腸詰)、肝臓、腎臓等々を塩だけで、鉄板で焼いたもの。

・プッチェーロ

牛の脚のぶつ切り、醃の鶏のぶつ切りに、ガルバンソ(豆)、カボチャ、にんじん等を一緒に水炊きにして、食油、塩、レモンをかけただけの料理。

・エンバナダ

大きなギョーザを油で揚げたもの。中身は挽き肉、ゆで卵、干し葡萄、オリーブを刻んだもの、鹽もろこし等を練り合せたもの。この調味料も薄塩味で、干し葡萄の甘味がある。

・アサードに付くのはエンサラダである。

一般的なものは、レチューガ(サチまたはサラダ菜)だけのもの、また、それにトマトと玉葱を加えたものに、塩、食油、酢を合せせる。

・ピフテキ

ピフェ・デ・チョリーソ、ピフェ・デ・ローモ、チュラスコ等肉の部分によって呼びかたが違うが、これも塩味で焼き上げたもの、それにプレー・デ・パバ(じゃがいも)、パバ・フリータ(ポテト・フライ)がつきもの、一枚のピフェは日本人には食べ切れない位厚くて大きいのが普通。

・飲物

当国は南米ではチリとともに良い葡萄酒を産出する。特にメンドーサ州産出の葡萄酒（特に赤）は有名である。

\*バー、カラオケ等

- ・しあわせ……………JUNIN 1132 ☎ 86-0437
- ・えりも……………JUNIN 1281 ☎ 826-2317
- ・あおい……………BOULOGNE SUR MER 829
- ・あずさ……………MARIO BRAVO 1090
- ・とも……………COLONEL DIAZ 2689

\*土産物店

ブエノス・アイレスでの土産物の主なものは、牛皮製品、毛皮製品、ワニ皮製品であるが、この他に民芸品もある。

・牛皮、ワニ皮製品の店

- LOPEZ（日本人の店員がいる）……………H. T. DE ALVEAR 676
- FRENKEL（ ” ）……………FLORIDA 1075 ☎ 312-4523

・毛皮製品の店

- MAXIMILIAN……………H. T. DE ALVEAR 676

・靴の店

- GUANTE……………FLORIDA 331(男性用 )
- LOS ANGELITOS……………FLORIDA 529( ” )
- DELGADO……………CORRIENTES 601( ” )

・貴金属・宝石の店

- RICCIARDI（超高級専門店）……………FLORIDA 1001 ☎ 312-3082
- GUTHMANN（ ” ）……………FLORIDA 584 ☎ 392-0044

・民芸品

- KELLY……………PARAGUAY 431 ☎ 311-5712
- MATE Y PAMPA……………H. T. DE ALVEAR 473 ☎ 311-1640

\*市内の主なホテル

- SHERATON……………SAN MARTIN 1225 ☎ 31-6311
- PLAZA……………FLORIDA 1005 ☎ 31-5011
- PANAMERICANO……………CARLOS PELLEGRINI 525 ☎ 393-6111
- LIBERTADOR……………AV. CORDOBA 680 ☎ 41-4031

GRILLON.....Av. SANIA FE 796 ☎ 311-8181/9934  
 LANCASTER.....Av. CORDOBA 405 ☎ 311-3021  
 PRESIDENTE.....CIERRITO 850 ☎ 49-7671

§・チェック・アウトは大体11時までとなっている。この時間を過ぎると一日分の料金を徴収されるのでチェック・アウト時間の確認が肝要である。

・宿泊料

市内の主なホテルの宿泊料は日本同様食事付ではない。

・サービス

ホテル料金には他にサービス料金が加算される。

・チップ

食事に対するもの.....金額の5%

荷物運搬人に対するもの.....中型ケース1個につきA5

\*映画館

ブエノスアイレス市内のみにて約120の映画館がある。並国人は演劇と同様映画好きである。土曜日や日曜日の娯楽の一つでもある。LAVALLE 通りの500～900番地には映画館が密集しており、好みの映画が見られる。また、シネラマ及び70mmの映画館もそれぞれ1館ある。また、Av. CORRIENTES 通りの800番、1700番台にも多くの映画館がある。

映画は、一般大衆用、子供用、14歳及び18歳未満入場禁止の映画とわかれ、自動車用野外映画館も3館ある。また映画館の椅子席に案内する人もおり、それに心付けを若干やるのが習慣となっている。

映画の合間には、アイスクリームや菓子類等を売子が客席を回って売りに来る。当然町通りで売っているのより若干高い。案内人及び売子は殆ど制服を着用している。これは劇場も同じである。チケットの前売りも行われている。

\*日系旅行社

- ・宮本旅行社.....LIBERTAD 836 393-3234/9899
- ・鈴木トラベル.....SAN MARTIN 987, 3P-B ☎ 311-9910
- ・村岡（旅行案内、ミクロ10人乗り）.....☎ 97-9934, 2498
- ・NEW JAPAN TRAVEL.....ESHERALDA 740 11P-1116/1101 ☎ 393-1078

\*その他

・両替と通貨

通貨単位＝アウストラル。

アウストラルをドルに両替することは困難であるので、ドルをアウストラルに両替する場合は必要の額にとどめるように注意する必要がある。

・水

ブエノス・アイレスの水道の水はそれ程悪くはないが、旅行者、特に胃のあまり強くない人には鉱泉水（アグア・ミネラル）があり、炭酸ガスを含むもの（コンガス）と、含まないもの（シンガス）がある。

・服装

ブエノス・アイレスでは見だしなみに厳格で、最近はいくらか緩やかになったが、夏でも外出する場合は一般に背広にネクタイの習慣がある。

・乗物

タクシー……………全てメーター制でメーター表示の数字を別の料金表に基づき支払うことになっている。

地下鉄……………全区間単一料金

バス……………ワンマンカーで、料金先払いである。

